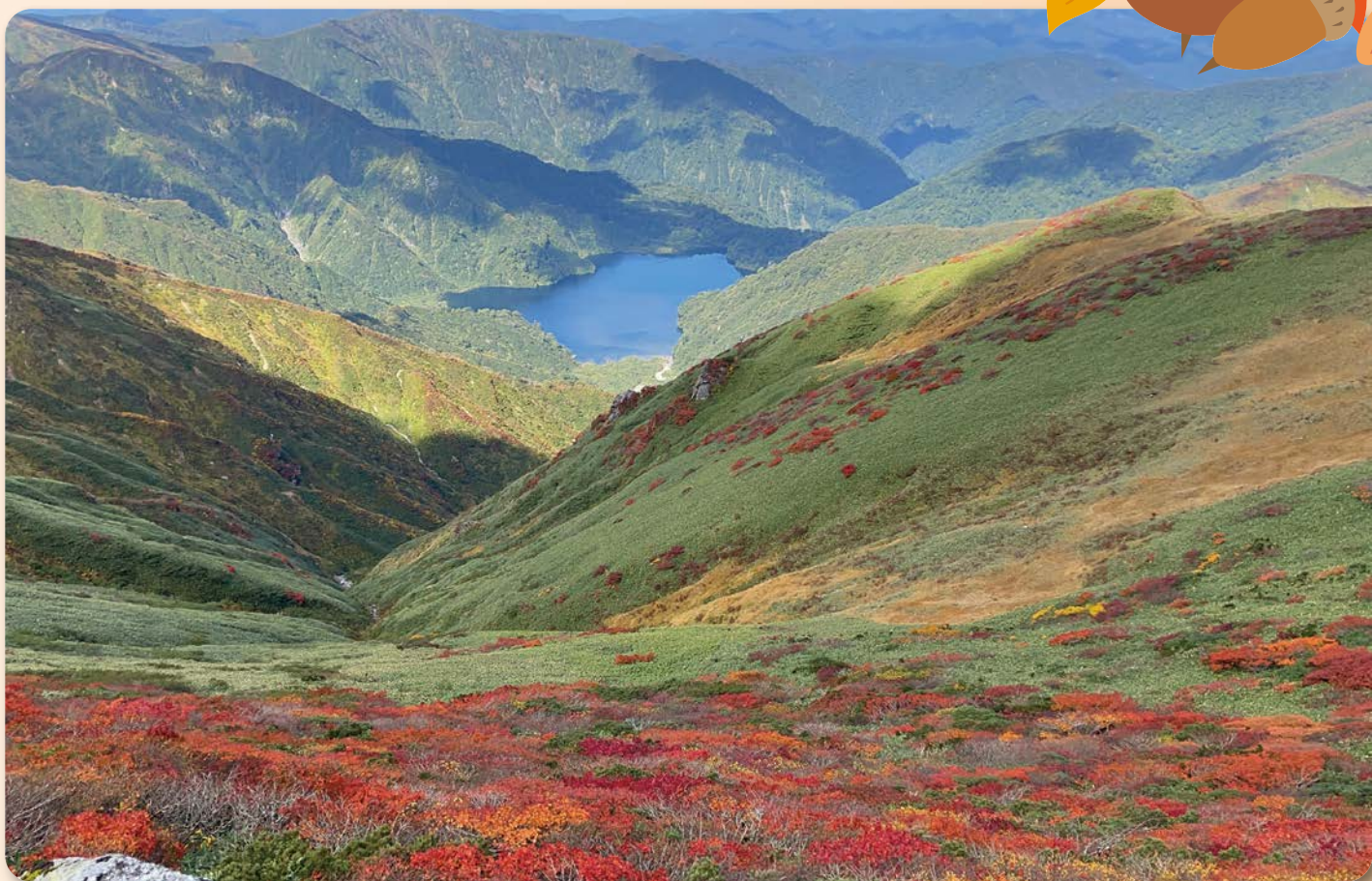


あおやぎ

No.295
2023年10月



看護部 板垣和人 主任看護師提供

感染症について ②

健康指導シリーズ第5回 目の健康について ③

ボランティア活動紹介 ④

院内施設のご紹介

フラワーモトキ／理容室Tanpopo ⑤

外来診療案内 ⑥

県立中央病院の理念と方向性

〈理念〉

県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療

- ・患者の権利と意思を尊重し、高度で良質、適正な患者中心の医療を提供します。
- ・医療従事者としての倫理綱領を守ります。
- ・最適ながん医療と生活習慣病対策を推進します。
- ・信頼される救急医療を提供します。
- ・地域医療、福祉との連携をします。
- ・将来を担う医療人の教育、育成を行います。
- ・公共性に配慮した健全な病院経営を目指します。



これからのウイルス感染症の予防について

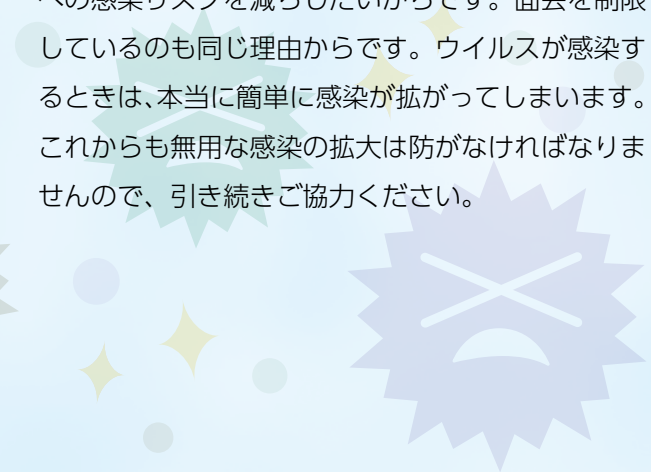
感染症内科 阿部 修一

2020年の新年を迎えて間もなく、中国で発生した原因不明の肺炎の情報が入りました。もちろんこの時はその後に起こることなど全く予見できませんでしたが、これが新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下コロナ）の流行の始まりでした。同年3月に世界保健機関（WHO）によりコロナのパンデミック（世界的大流行）が宣言されました。コロナの流行当初、感染者の多くは軽症で自然に回復しましたが、一方で肺炎が急激に重症化して致命的になるケースも少なくありませんでした。その後、新型コロナウイルスは変異を繰り返して、2022年に入ってから現在までオミクロン株と、そこから派生した変異株が流行しています。

このパンデミックの約3年間、感染者の増加、相次ぐクラスターの発生、ワクチン接種の普及などを経て、2023年5月よりコロナは2類相当の指定感染症から5類感染症に移行しました。2類とか5類とかいうのは、いわゆる感染症法で定められた感染症の分類です。その病原体の感染力や病気としての重症化リスクに応じて、危険なものから順に1類から5類まで分類されています。2類感染症は「危険性が高い」感染症という取り扱いですので、全数把握や行動制限などの対応・措置がありました。これに対して、5類感染症は「発生・拡大を防ぐべき」感染症ですので、感染症発生動向調査などにより流行状況などの情報が提供されます。つまり、コロナは「未知の危険な感染症」から、インフルエンザと同様の「ありふれた感染症」という扱いに変わったのです。このように言う「コロナはただの風邪と一緒にだ」と思われる方もいると思います。本当にコロナはただの風邪でしょうか？残念ながら答えはNOです。コロナに感染した人の多くは確かに軽症（中には無症状の人もあります）ですが、一方で今なお肺炎を起こして重症になる人がいるのも事実です。ふつうの風邪で肺炎になって重症化することは

まずありません。もう一つはコロナの後遺症の問題です。コロナに感染するまで普通に仕事や学校に行っていた人が、感染後の後遺症のせいで当たり前の生活を全く送れなくなってしまいます。現実の問題として、感染してひどい目に遭っている人がまだ多くいるのです。

この3年間はコロナ以外のウイルス感染症の流行はほとんどありませんでしたが、現在、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、プール熱などが増えています。特にインフルエンザはこれまで冬に流行していましたが、今年は夏の終わりから感染者数が増加しています。引き続きコロナは残っています。これからインフルエンザを始めとする他のウイルス感染症は増えていきます。したがって、様々なウイルスへの感染リスクはむしろ大きくなるでしょう。だからといって、もちろんこれまでのような感染予防のための一律の行動制限は不要です。その場面や状況に応じた、メリハリのある感染予防策が重要になります。ただ、ウイルスは違っても、実際にやることは今までと同じで、こまめな手洗い・消毒と適切なマスク着用です。特に大きな持病などがなければ、自分が感染して悪化する危険性はあまり考えなくてもいいです。しかし、病院に入院している患者さんたちは、感染した時の危険性を常に考えなければなりません。病院で手洗い・消毒とマスク着用をお願いしているのは、入院患者さんへの感染リスクを減らしたいからです。面会を制限しているのも同じ理由からです。ウイルスが感染するときは、本当に簡単に感染が広がってしまいます。これからも無用な感染の拡大は防がなければなりませんので、引き続きご協力ください。



健康指導シリーズ 第5回

「手元が見えにくい」と感じたら

眼科 認定視能訓練士 岸 政彦

1. 老視とは

眼には、見たい距離に瞬時にピントを合わせる調節という機能があります。

多くの人は40歳を過ぎると、加齢に伴い調節力が低下し、新聞やスマートフォンの文字がぼやける、編み物などの細かい手作業が不自由になる老視（いわゆる老眼）が生じます。

老視の初期は、対象物を眼から離して見る、使っている眼鏡をはずして見る、眼を細めて見るなど、不自由を感じながらも対応できますが、老視が進行すると徐々に対応が困難となります。「手元が見えにくい」と感じたら、眼科受診をお勧めします。また、老視と診断された場合は、近用眼鏡（老眼鏡）の使用を検討する必要があります。

2. 近用眼鏡レンズの種類

近用眼鏡は手元を見やすくする眼鏡です。近用眼鏡のレンズには、1枚のレンズに1種類の矯正度数を持つ単焦点レンズと1枚のレンズに複数の度数を持つ多焦点レンズがあります。その特徴をご紹介します。

A. 単焦点レンズ 手元の一部の距離にのみピントが合うタイプ。

B. 多焦点レンズ 複数の距離にピントが合うタイプ。レンズ上部から下部にかけて緩やかに度数が変わる境目のない累進屈折力レンズが最近の傾向。図1～3の3タイプがあり、赤色部分は遠用度数、黄色部分は中間用度数、青色部分は近用度数の範囲イメージ図。

a. 遠近両用レンズ（図1）

自動車運転や遠くの景色などを広く見ることを重視。

パソコンや本などを見る度数の範囲は狭いが、ほとんどの距離が見えるため常に装用可能。

b. 中近両用レンズ（図2）

家庭や職場などの室内空間の視界を重視。

テレビなど3～4m先の中間距離から手元までを見ることが可能。

c. 近近両用レンズ（図3）

デスクワーク周辺を広く見ることを重視。

パソコン画面など50～60cmくらいの距離から手元までを見ることが可能。

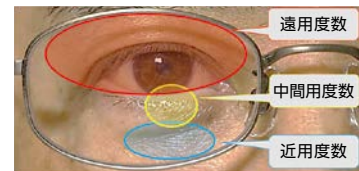


図1

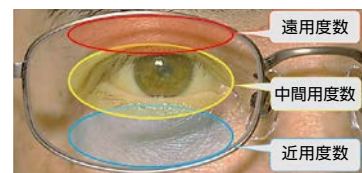


図2

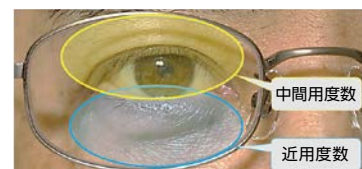


図3

3. 快適に見るための眼鏡選び

遠近両用レンズは、遠方から近方のすべての距離が見えるので常に装用可能です。しかし、手元を見る度数の範囲が狭いため、揺れや歪みを感じる場合があります。家庭や職場で長時間の近業を行う場合は、室内での視界を重視する中近両用レンズかデスクワーク周辺を重視する近近両用レンズの使用をご提案します。

また、1つの眼鏡で生活するよりも、遠方重視の眼鏡と室内重視の眼鏡を所持し、生活の場面ごとに複数の眼鏡を使い分けることも、見たい距離を快適に見る方法となります。

眼鏡についてお困りの際は、眼科にご相談ください。

県立中央病院ボランティア「ひまわり」です

医療連携・相談室 ボランティアスタッフ

山形県立中央病院ボランティア「ひまわり」は2001年に発足して、今年で23年目となりました。病院利用者のサービス向上のため、病院スタッフと協力しながら活動しています。その活動内容や日々の感想を紹介させていただきます。

総合（月曜日）

月曜班です

月曜班は朝に入退院入口の所から車椅子とカート正面玄関の所まで運び出し、その後再来受付機と自動支払機の2ヶ所に分かれて通院の方の対応しております。現在4人ですが、来院者の様々な要望や質問にお応えし、案内しております。体調に気を付けて、今後も続けて行きたいと思っております。

総合（火曜日）

フロアにて

「ありがとう」なんと嬉しい言葉、お役に立って「こちらこそ」。ボランティアと言えど、お節介に成らず然りげなく、お互い様の心でフロアに立つ火曜日のメンバーは6人。

尋ねられ答えられず、時には怒られ、それでも笑顔笑顔。長びくコロナ禍に、早く車椅子を押してあげる日が来る事を祈ってます。

総合（水曜日）

巷ではボランティアを奉仕活動と認識しているようですが、実際携わると少し違います。自身のためでもあると感じます。この活動は人と顔を合わせ言葉をかわし、時に労いや感謝の言葉を受けながら、社会とのつながりを持つものです。自発的にこの行為を選べる気力と体力が保たれていることは幸いな事です。

総合（木曜日）

木曜班の活動

私達木曜班はボランティア20年のベテランから新人まで6人で、和気あいあいと活動しています。活動時間3時間を前半、後半と分け一日1時間半ずつ活動しています。また順番に6週間に一回は休めるようにしています。“無理なく楽しく”をモットーにお互いに助け合いながら楽しく活動しています。

総合（金曜日）

病院ボランティア活動冥利に尽きる一瞬

県立中央病院の移転と同時期から始まった病院ボランティア活動。私達のエプロン姿も定着した感があり、来院される方からの温かい言葉「おはようございます。寒いのにご苦労様、貴方達がいるとホッとします」等々沢山の声を頂く事が有り、病院ボランティア活動冥利に尽きる一瞬に、より一層力が沸いて来ます。

緩和

私達緩和ケアボランティアは、緩和ケア病棟で、患者様やご家族様へのお茶等のサービス、病棟の生け花や花壇の手入れ、七夕やクリスマス会等月行事のお手伝い、車いす散歩の介助などを行っています。

コロナの影響で今は活動を休止していますが、活動再開に向けて準備をしています。



ボランティアでは、一緒に活動していただける方を募集しております。原則として決まった曜日に通年での活動をお願いしています。ご興味のある方は、医療連携・相談室にお問合せください。

【院内施設のご紹介】

フラワーモトキ

店長 元木 綾子

こんにちは。当店は山形市江俣に本店があり、多くのお客様にご来店頂き創業46年になり、県立中央病院にオープンしてから22年になります。お見舞いのアレンジメントや様々な用途のギフトなど、お客様のご要望にそえる様にえられる花屋を目指しております。

院内の3か所に季節の花を飾らせていただいております、少しでも癒しやリフレッシュしたい時などご覧になってください。

また、人気のドライフラワーやプリザーブドフラワーなども事前にご予約頂ければイメージやテイストに合わせて製作致します。

病院内の花屋として、これからも皆様に寄り添い愛される花屋を目指して参ります。

尚、本店の方には多種多様に飾っておりますので、ぜひご来店下されば幸いです。



営業時間 / 11:00 ~ 15:00

定休日 / 土・日・祝日 (但し、営業する場合があります)

本店 (江俣) フラワーギフト・モトキ (定休日 日曜日のみ)

理容室 Tanpopo

オーナー 斉藤 とし江

当理容室は、県立中央病院設立と共にオープンし、今年4月で22年を迎えました。

ここ3年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、お客様の動きも止まり、精神的にも経済的にも苦しい時期となりました。

そんな中でも、変わらず来店していただきましたお客様からの温かい言葉に励まされ、何とか乗り越えることができました。

さて、令和5年4月より、心機一転、店名を“Tanpopo”に変更し、受付時間を延長しての営業を開始しました。

お客様の外来の日程に合わせた事前予約や車椅子による入店、散髪、顔剃りもオーケーです。また入院中の病棟出張も致します。

できる限りお客様のご要望に応じていけるようにしたいと考えておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

●理容室メニュー●

- ①調髪 (カット、顔そり、シャンプー込)..... 3,400 円
- ②白髪染め (カット、顔そり付)..... 5,500 円
- ③女性顔そり (マッサージ、パック付)..... 2,800 円
- ④その他 (要相談) ※他にも単品のメニューあります。

営業時間 / 月~金 9:00 ~ 17:15

土 9:00 ~ 12:00

定休日 / 日曜日・祝日



ブロック	診療科	診療曜日					ブロック	診療科	診療曜日				
		月	火	水	木	金			月	火	水	木	金
A	内科	●	●	●	●	●	D	産婦人科(産科)	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	呼吸器内科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ		産婦人科(婦人科)	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ
	血液内科	/	△	△	●	/		頭頸部・耳鼻咽喉科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	糖尿病・内分泌内科	△	△	●	△	△	E	小児科 新生児内科	●	●	●	●	●
	循環器内科	●	●	●	●	●		小児外科	/	● 午後のみ	/	/	● 午後のみ
	消化器内科	●	●	●	●	●		皮膚科	●	●	●	●	●
B	整形外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	/	形成外科	●	/	●	/	●	
	眼科	● 要紹介状	/	● 要紹介状	● 要紹介状 10:30まで	● 要紹介状	F	外科	●	●	●	●	●
	歯科口腔外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ		呼吸器外科	/	●	FAX 予約のみ	/	●
C	脳神経外科	●	●	●	●	●		乳腺外科	●	●	●	/	●
	泌尿器科	● 要紹介状	△	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	心臓血管外科	/	●	/	/	●	
	心療内科	△	/	△	/	△	緩和医療科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	
	脳神経内科	●	△	●	△	●	放射線科	●	●	●	●	●	

当院を受診する時は

◎初めて受診される方

- ・総合受付(初来院受付)に診察申込書、問診票及び紹介状(紹介状をお持ちの方)を提出のうえ、受付してください。
- ・総合窓口受付開始時間までは番号札をとってお待ちください。

◎再来の方

- ・予約の有無に関わらず、再来受付機で受付してください。
- ・再来受付機は、午前7時30分からご利用になれます。

◎保険証または保険証利用登録の済んだマイナンバーカードのご提示がないと全額自己負担になります。

マイナンバーカードをご利用の際は、顔認証付きカードリーダーへの登録操作が必要になります。

◎「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。

紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、紹介型外来による医療提供を実施しており、緊急の場合を除いて、紹介状をお持ちの方のみの受付に限らせていただいております。

- 初めの方・予約の方は受診できます
- △ 予約のある方のみ受診できます

呼吸器内科(火・金)・歯科口腔外科・整形外科・婦人科・呼吸器外科(水)は「かかりつけの先生」からのFAX予約が必要です

※内科の火曜・金曜日は症状によっては受付をお断りする場合があります。

非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

【令和4年10月1日より金額が変更になりました。】

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用「非紹介患者初診加算料」として7,700円(税含む)を頂いております。また、当院から他医療機関(大病院を除く)への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、3,300円(税含む)を頂いております。ただし、助産にかかる療養費等の場合は、非課税となります。
※緊急入院等の場合は除きます。

再来患者さんからの電話予約及び予約変更については、患者サポートセンターで受付けております。

TEL 023-685-2620 (13時～16時)

「かかりつけの先生」からのFAX予約も受付けております。

FAX 023-685-2606 (平日/8時30分～18時 土曜/8時30分～14時30分)